



令和2年度 森のせんせいスキルアップ講座

定員 20名 受講 無料



県土の約64%を森林が占める三重県では、人の生活と森林との関係について活動体験などを通して学ぶ「森林環境教育」の取組が各地で進んでいます。その取組をさらに広げるため、森林の魅力を広く県民の皆さんに伝えたり、教えたりするスキルを向上していただくことを目的とした森のせんせいスキルアップ講座を開講します。

■受講をお勧めする方

- ・森のせんせい ・森林の魅力を伝えたい方 ・森林環境教育や木育に関心のある教職員の方
- ・子育て支援に携わっている方 ・今後「森のせんせい」への登録を希望する方

～ 幼児を対象としたインタープリテーション[※]～

キープ協会による研修を受講して、コミュニケーション能力の高い
インタープリターになろう！

森のせんせいをはじめとする指導者が、幼児を対象として園や地域で活動を行う機会が増えていく中で、幼児に森林のたいせつさを伝えるには、情報や知識だけでなく、興味を起こさせるためのコミュニケーション能力の向上が求められます。

研修では、国内でも先進的な事業を行ってきたキープ協会による実習とアドバイスを通して、指導者としての役割を理解するとともに、幼児を対象とするインタープリテーション技能を身につけます。

日時：令和2年9月12日（土）9:30～16:00

令和2年9月13日（日）9:30～15:30

場所：天満荘（尾鷲市天満浦161番地）

講師：公益財団法人キープ協会 増田直広氏



※写真は昨年度「インタープリター編」の様子です。

※「インタープリテーション」とは、体験や教材を通して自然や歴史、文化の意味や価値を伝える教育活動です。
「インタープリター」はインタープリテーションを行う人のことであり、「橋渡し役」や「つなぐ人」と表現されることもあります。

主催：三重県 運営：みえ森づくりサポートセンター

この講座は「みえ森と緑の県民税」を活用して実施しています。